

FEYNLAB™ MATTE CERAMIC

製品概要：

FEYNLAB MATTE CERAMIC は、自動車のマット塗装や、ラッピングシート、PPF などの表面を、極めて高い耐久性能と保護性能を発揮するよう開発されたセラミックナノコートです。超高固形型コーティングである MATTE CERAMIC は、紫外線や熱からの保護、耐薬品性、そして洗車時にはいつまでも洗車キズから塗装面を保護します。

一般的に、固形型コーティングはマットな表面に施工するのは難しいです。

FEYNLAB は、防汚性能、持続性、そして車のメンテナンスを素早く簡単にし、より楽しくするようなコーティングを提供する為、堅牢な保護と疎水性の両方を実現するために MATTE CERAMIC を設計しました。

製品特性：

FEYNLAB MATTE CERAMIC は、高膜厚で耐久性があり、高固形のプロフェッショナルなコーティング剤です。MATTE CERAMIC の開発では、マットな表面という特殊なニーズに対して、効率的なコーティングの塗布で最大限に保護することが重要でした。

MATTE CERAMIC は、耐熱性、耐紫外線性、耐薬品性の面で他社を圧倒しています。

FEYNLAB の真のナノテクノロジーと化学結合は、比類のない保護を可能にします。

他のほとんどのコーティング剤よりも、既存の塗装構造やラッピングシート、PPF に浸透し保護します。

固い固体コーティングを製造する際必ず施工がより一層難しい物になってしまいます。

FEYNLAB CERMIC の開発において簡単な施工性が主な目標の一つでした。よって、競合他社製品との比較下においてこの点は差別化される重要事項です。滞留時間は 25 分までとずば抜けて寛容です（滞留時間については、気温や湿度等の環境が重要要因になりますので、常にまずはテストをしてください。）

耐久性、保証、スペック：

FEYNLAB MATTE CERAMIC の耐久年数は約 3 年です。

1 回の施工で MATTE CERAMIC を 1 層塗布します。

施工可能表面以外には絶対に施工しないで下さい。

- ・ マット塗装表面
- ・ マット PPF
- ・ マットラッピングフィルム

製品内容：

FEYNLAB MATTE CERAMIC -30ml (中型車1台分) & マイクロファイバーアプリケーションスポンジ x 1個

注意：

施工時には常に防毒マスクとグラブを装着してください。施工場所は遊離性汚染が無い場所であることを確認してください

順序：

施工前に明るく、摂氏 10°C~30°Cに温度管理され、汚染の無い環境に車両を置いてください。十分な(4枚以上)マイクロファイバータオル、1~2個のマイクロファイバースポンジアプリケーションスポンジ、そして十分な照明を用意して下さい。

FEYNLAB MATTE CERAMIC はマット剤や固形成分が沈殿している事が有るのでボトルを強めに2分間ほどよく振ってください。キャップを開けて1分ほど空気に触れさせて、再度1分間振ってください。塗布中は、マット剤が溶液中に沈殿するのを防ぐため、頻繁に振るようにしてください。

施工面の準備：

表面を確認し、必要に応じた処理をします。手順は、PURE WASH または PURERINSLESS のいずれかを使用して車両表面を完全に洗浄を行います。

表面が汚れていると感じた場合

- ・粘土処理が必要な場合、傷をつけないように粘土パッドを使用するか、鉄粉除去剤を使用し鉄粉などを除去して下さい。

- ・雨染み、軽度なウォータースポットが付着している場合は、ウォータースポットリムーバーを使用し、塗装表面に付着している物を除去して下さい。

コーティングする前に、PANEL PREP を使用して、表面に残っているすべての汚れや油分を完全に除去します。PANEL PREP を使用した後、コーティングを施工するまで少なくとも10分は待って下さい。

コーティング塗布：

ドア1枚やボンネット半分等のパネルを塗布できるようにマイクロファイバーアプリケーションスポンジに十分な MATTE CERAMIC を塗布してください。コーティング施工面の真ん中に『十字』に塗布してそれから淵を塗布していきます。これにより製品がまんべんなく浸透していきます。それから左から右へ水平方向に塗布し、次に上から下に垂直方向に塗布して1層が均等になるようにします。

1 パネルに対する塗布が終わったら、一步下がって液垂れ、塗り過ぎ、液こぼれが無いかを確認します。もしそれらが見つかったら、アプリケーションスポンジで均等になるよう伸ばしてください。こうすることによってパネルを均等に乾かすことができ、製品の使い過ぎを防げます。

MATTE CERAMIC が約 75%乾燥するまで待ちます。温度と湿度によりこの待ち時間は 2 分～10 分くらい掛かります。グラブをはめた指で施工面を軽くなぞり、未施工の隣のパネルとへの湿り気の渴きの移行具合を確認することが出来ます。コーティングが簡単に未施工面に移行しなければ、次のステップに進むことが出来ます。

1 枚のパネル上でコーティングが 75%乾燥するまでの最適時間が分かれば、一度に何枚のパネルをコーティングできるか決めます。一度に多くのパネルをコーティングしすぎると、コーティングが早く乾きすぎてしまい拭き取りが難しくなるので注意が必要です。

拭取り手順：パネルが約 75%乾いたら、清潔なマイクロファイバータオルで拭きのぼし、蒸発しなかったコーティング剤を取り除きます。この作業は、各パネルに同じ手順で行います。

2 枚のマイクロファイバータオルを使用します。

タオル A (左手) は、コーティングの大部分を除去します。最小限の力で、表面をクリアに仕上げる為に優しく拭いてください。

タオル B (右手) は仕上げ拭き用として残ったコーティング剤を取り除き、拭き残しが無いように仕上げます。

検査：

車両全体に移行する前に、施工済み面を慎重に点検してください。エッジ部分、エンブレム、その他の狭い部分にコーティング剤が残っていないかを確認します。20～30 分以内にそれらを見付けることが出来れば、除去は簡単です。

重ね塗り：

CERAMIC 1 層塗りで十分ですが、(バンパーやボンネット等) 更なる保護性能を希望する箇所への重ね塗りも可能です。1 層目を仕上げた後 30 分以上 4 時間未満でもう一層塗布することが可能です。

施工後の取扱い：

24 時間は水への露出は避けてください。

7 日間は洗車を含むケミカル（化学品）は避けてください。

FEYNLAB PURE WASH か FEYNLAB RINSELESS と FEYNLAB DETAILER を使って
洗車及びメンテナンスしてください。